

Passport

女と男の豊かな生き方を探る情報紙

パスポート



INDEX

- **すてきな生き方** カジュ・アート・スペース主宰 たなか 牧子 さん
- **特集** 働くお母さんお父さんをサポート！
放課後を子どもたちが安心して過ごせる
「子どもの家(学童保育)ってどんなところ？」
- **report** 行ってみました！「デートDV予防ワークショップ」

Vol. 44

2014 鎌倉市



すてきな生き方

カジュ・アート・スペース主宰
染織家 たなか 牧子 さん (二階堂在住)

鎌倉の植物たちに彩られ、紡がれていくご縁



© 湘南デザインシステム

たなか牧子さんは女子美術大を卒業し、本業は染織家ですが、1997年からカジュ・アート・スペース主宰、2014年で9回目を迎える鎌倉路地フェスタの実行委員長など、数々の芸術活動・地域活動を手がけています。また、社会人となる息子さんを育てあげたお母さんでもあります。自然体でありながらパワフルに様々なことをこなす秘訣を探りにカジュ・アート・スペースを訪ねてみました。

カジュは「花樹」、草木染めの工房に相応しい名前です。緑に囲まれた静かな住宅街にあり、たなかさんが『守護神』という大きなカエデの古木が出迎えてくれました。カジュ・アート・スペースは築70年以上の古民家を改装して染織工房、防音ピアノ室、貸しスペースを設けた文化施設で、各種教室運営やイベント企画、地域活動などを行っています。もともと自分が仕事をするために借りた場所でしたが、貸しスペースとして利用することを思いつきました。そこで様々な分野のクリエイターが集まることで広がっていく活動を無理なくやっていくため、親子で音楽やアートを楽しむ託児つきイベントを考えたり、近所の人にアート活動を理解してもらえよう参加してもらったり工夫をしました。それが鎌倉路地フェスタなど今では地域一帯から鎌倉を代表する活動、更には外国人アーティストとの交流など、国境を越えた活動にもつながっています。

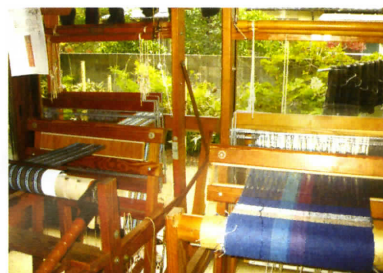
お話をうかがっている間にも、たなかさんは染色中の鍋

の様子を見に立ち、「ながら仕事」だから色々なことができるんですよ」と笑います。たなかさん曰く「雑用とか雑草とか雑なもの世の中には無い」。どれも大事にされているからこそ、どれもこなせるのでしょう。

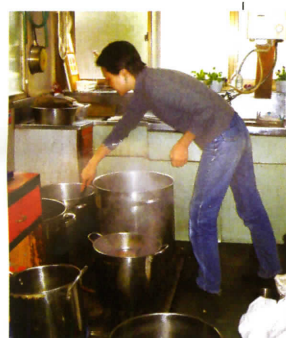
大鍋では桜の枝が煮出されていて良い香りが漂っていました。こだわりの色はありますか？と尋ねると「ありません。出た色は植物からの頂き物と思っていますから」。勿論どんな色が出るかはある程度予想がつくそうです。様々な植物と媒染の組み合わせ、その結果を研究した膨大な資料を見せていただきました。成果は「鎌倉染色彩時記」<http://khaju.cocolog-nifty.com/turuori/some/index.html>で見ることができます。

鎌倉の植物で草木染めをするたなかさんには、空き地の草も大切な宝物、鎌倉の緑は守っていかなければならないという信念があります。そこは譲れない、という芯の強さと既成概念にとられない柔軟な発想が、たなかさんのしなやかな生き方の秘訣なのかもしれません。

今後の目標は？との問いに「守護神のカエデの木にお伺いを立てるかな」といたずらっ子のような笑みで答えてくれました。



美しい色が織りあげられる



鍋の様子を見るたなかさん

特集 働くお母さんお父さんをサポート！



放課後を子どもたちが安心して過ごせる 「子どもの家(学童保育)ってどんなところ？」

鎌倉市の各小学校区に16ヵ所ある子どもの家。子どもの家は、就労等により保護者が昼間家庭にいない児童を対象に、安全な遊び場の提供や家庭的な指導などを行う施設です。

「家庭的な生活の場」を目指した現状を見ようと、「おなり子どもの家」を訪ねました。

👤 子どもたちの毎日の過ごし方は？

学校が終わると、「ただいま～」と大きな声で挨拶をしながら子どもたち(原則として1~3年生ですが、余裕があれば6年生まで利用可能)がやってきます。みんながそろったところで、午後3時からおやつ。ここではおやつ係のお母さんが用意してくれたお菓子などをいただき、食べ終わったら遊びの時間に。指導員の目の届くところで外遊びをすることもあります。

4時50分頃に片づけをはじめ、帰宅準備を整えたら、その後は宿題などの勉強やゲームなどをして過ごします。利用時間の延長は午後7時までです。

また夏休みなどの長期の休みは、午前8時15分から開所して、10時までは学習時間。10~12時は室内遊びをして、12時から持参したお弁当タイム。食後は午後1時まで休息します。その後のスケジュールは平日と同様です。

おなり子どもの家の登録者数は96人。多いときは70人くらいの子供たちが一緒に過ごします。指導員はアシスタントを含め5~6人で対応しています。



◀ 手作りの大型カード
(百人一首かるた)

▼ おなり子どもの家の行事
「おなり秋まつり」



👤 子どもたちも楽しみにしている季節の行事

市内各所の子どもの家では月に1回の季節の行事と避難訓練が実施されていますが、行事プランや父母参加の割合は施設によって特色があるようです。

おなり子どもの家では年2回の大型カード大会、プラバン作り、草花観察会、夏のプール、水遊び、カレーやかき氷作り、お寺での坐禅体験、秋祭り、映画会、豆まき会など盛りだくさん。ほかにドッジボール、相撲、卓球などスポーツの催しも。

子どもたちに感想を聞くと、一番楽しかったという行事がそれぞれ違うところに、子どもの個性を伸ばすきっかけ作りの幅の広さが感じられました。

👤 指導員さんの役割と心がけていることは？

「保護者の方が安心してお子さんを預けられるよう安全面に配慮しています。また、保護者の方との信頼関係を築くことが大変重要と考えていますので、指導員間で連携を取り、必要な情報をお伝えします」

お子さんに関しては、それぞれのお子さんの特性を理解して指導すること、一人一人を大切に平等に接すること、普段と違う様子が見受けられるときはその喜びや不安な気持ちをしっかり受け止めるようにしているそうです。子ども同士のトラブルもありますが、なるべく安定した人間関係がつかれるよう、必要があれば子どもの間に立って調整すること。

「子どもたちがリラックスできる時間と空間であるよう、学校の先生ではなく身近な大人として本音で話し、対等に接しています。大切なのは、子どもたちが安心できる自分の居場所として認識できることです」

「お母さんは疲れているから心配をかけないようにと、気をつけているお子さんもいます。保護者の方に子どもの家での様子をお伝えすると、学校や家庭では見せたことのない一面に驚かれることもありますね」

おなり子どもの家の指導員さんたち





子どもの成長を見守ってくれる寺子屋のようなところ！ —入所申し込みの前に知りたい先輩ママの声—

各小学校区にある子どもの家はそれぞれに特徴があります。
実際に利用した感想を3人のお母さんにうかがいました。

成長を見守り、個人の自由も認めてくれる場所 多武梨沙さん(小5、小3女子・にかいどう子どもの家)

学童の利用は、保育園からの自然な流れでした。申し込み前に利用している友達から「いいよ～」という感想を聞いていたので安心して預けられました。子どもたちも放課後いる場所と自然に思っていたし、クリスマス会などの行事も楽しんでいました。ここで人との接し方、時間の有効利用の仕方、宿題や自習など勉強を習慣づけていただいたこともありがたかったです。子どもは帰宅したら学校のできごとを話したいもの。仕事をしている母親はすぐにその相手ができないのは辛いところですが、子どもの家で指導員の先生におしゃべりを聞いてもらえること、学年が上がるにつれて一人前扱いしてもらったことはとても嬉しかったようです。



成長に伴って昨年末にふたりとも退所しましたが、子どもたちにとって懐かしい場所であり、楽しい行事の記憶が持てたことはよかったなと思っています。

学校のクラスの友達以外とも仲良くなれました 寺坂裕美さん(小5男子・おなり子どもの家)

お姉ちゃんは幼稚園でしたが、いま利用している下の子は保育園から引き続きのお友達も多く、楽しく通い始められました。別のクラスや年齢差のある子たちとも過ごせるのはいいところ。そして年上の尊敬できるお兄ちゃんと出会えたのもよかったです。



働く母親としては放課後ベースになる子どもの居場所が確保されているのは安心ですし、経済的な面でもありがたいことです。通常は保育園のときのような詳しい連絡帳はないので、お迎えのときなどに先生方と言葉を交わしたりしてコミュニケーションを心がけたいと思っています。

おなり子どもの家は市内の施設でもイベントが多いほうで、父母会との共催のものはできる限り積極的に参加しました。やはり行事を通して絆が深まったと思います。小学校の体育館で開催された卓球大会は親も楽しく、子どもたちが一生懸命応援する姿が微笑ましくて印象的でした。よい思い出です。

保育園との違いは寺子屋のような過ごし方 三宅富美子さん(小2男子・いわせ子どもの家)

利用してよかったと思ったのは、個々に遊ぶ約束をしなくても、子どもの家に行くとき放課後に多くの友達がいることです。ルールのある遊びをしたり、自分たちでルールを決めて新しい遊びを作ったりしていました。

年齢別やクラス分けがなく、保育園との違いを大きく感じました。同じ部屋で年齢差を超えて一つの社会が出来ている、まるで寺子屋のようだと思います。

母親としても限られた時間の中で、仕事をしている者同士のつながりができたこと、子育ての情報交換ができたことはプラスになりました。

また、指導員さんの手作りだと思うのですがフェルト製のイニシャル入りのキーホルダーをいただいたことが心に残っています。子どもも大変気に入って使っています。



「子どもの家(学童保育)に申し込みするには？」

平成26年の新年度入所申請は終了しましたが、随時申請も受け付けています。その場合は入所希望日の2週間前までに申請しましょう。ただし希望の施設が受け入れ可能人数に達している場合は待機になることがあります。

●問い合わせ先

鎌倉市 こどもみらい部青少年課
電話0467-23-3000(内線)2463
鎌倉市ホームページ

<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/seisyo/shisetu3.html>
「健康・福祉・子育て」の中の「子どもの家」のページから「利用について」「入所申請」「鎌倉市内の子どもの家」の詳細を参照。

行ってみました! 「デートDV予防ワークショップ」



皆さんは、「デートDV」という言葉を聞いたことがありますか? DVというと、夫婦間の問題と思われがちですが、デートDVは交際の若いカップル間で起こる暴力のこと。ここ数年、相談が増えてきているそうです。まだ一般には聞きなれない「デートDV」とはどんな問題なの? そんな疑問を胸に、昨年11月に鎌倉市役所で行われた「デートDV予防ワークショップ」に、パスポートスタッフが参加してきました。

DVというテーマだけに「参加しにくい雰囲気かも…」と思いながら会場へ行くと、意外にも様々な年齢の方が集まっていました。参加理由は「デートDVという言葉が気になって」「娘の友達が困っているの」「友達に誘われてなんとなく」などなど。デートDVの予防なので、参加者の対象も広く、気軽に参加できる様子でした。そして、さっそくワークショップ開始。

最初に「特定非営利活動法人エンパワメントかながわ」理事長阿部真紀さんが現状について説明しました。

付き合っているカップルの3組に1組の割合で起こっている(※)といわれているデートDV。神奈川県では、防止啓発チラシを高校や中学校で配布しています。

デートDVには殴る、蹴るなどの「身体的暴力」だけでなく、バカにしたり傷つくことを言ったりする「精神的暴力」、メールのチェックや友人関係を制限する「行動の制限」、借ったお金を返さないなどの「経済的暴力」、そして無理やり性行為をするなどの「性的な暴力」など様々な形があります。どんな行為であれ相手を怖がって顔色をうかがい、自分のことを自分で決められなくなる

状態になっていくのを“デートDV”と呼びます。

阿部さんの説明で現状を把握した後は、高校生向けデートDV予防ワークショップの一部を模擬体験。相手を好きだと思っての行動が、相手を支配する関係に変わっていくのを体験しました。

ワークショップの最後は、この状況をどう改善するかを考えます。相手を好きという気持ちと、怖いという気持ちと同時にあり、自分自身の本当の気持ちが変わらなくなった状態に陥ると、本人は気がつきにくく、どんどん孤立していきます。そんな時は一人で悩まず、誰かの力を借りるのが大切。友人や家族など、周りにいる人に相談してほしいと思いました。

「デートDV予防ワークショップ」は、デートDVの現状や暴力の構造について知るとともに、相談された時には、どう対処すべきかを学ぶ会でした。

デートDV専用の電話相談「デートDV110番」が開設されているほか、鎌倉市にも女性のための相談窓口がありますので、活用していただけたらと感じました。

DV…英語の「domestic violence」を略したもの。一般的には「配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者から振るわれる暴力」という意味で使用されます。

(※) 横浜市の調査では、交際経験のある高校生のうち女性33.7%、男性27.1%、合計31.0%が何らかの被害にあったと答えています。

デートDV110番 050-3540-4477

火曜日 18:00~21:00 土曜日 14:00~18:00

デートDV110番は、神奈川県と
NPO法人エンパワメントかながわが協働で運営しています。

【鎌倉市女性相談 (電話・面接)】

☎ 0467 (23) 9311

月~金曜日 (祝日・年末年始を除く)

10時~13時 / 14時~16時30分

面接は予約制です。



鎌倉市
土地 建物 仲介・管理
マンション アパート
駐車場 トランクルーム

あなたの街の **マミー**
不動産屋さん

☎ 0467 (46) 3311 FAX 0467 (44) 3310

神奈川県知事免許(2)第 25723 号 (有)マミー 鎌倉市台 4-3-13